R5 年度 6 月 ばら組ドキュメンテーション『カンパイで遊ぼう』

公園の砂場で遊んでいた。
それぞれ、砂をすくう、型抜きをするなど好きな遊びを楽しんでいた。

↓

A 君がコップに砂を入れて飲むまねをしていた。
それを見た保育士は、もう 1 つ砂を入れたコップを用意し、
「カンパイしよう」と声をかけた。
A 君と保育士が、コップを合わせて乾杯をしているところを見て

B ちゃんが、1 人でコップを 2 つ持ち、コップをカチカチと合わせ始めた。

☆考察☆

今まで一人遊びをしていることが多かった B ちゃんだが、徐々に周りの遊び方を意識し始めるようになったことがわかる。またこの頃から、一人遊びをしていた子が、大人の仲立ちを受けながら、友だちと一緒に遊ぶ姿も見られるようになってくる。日頃の活動のなかで、大人が友だちの様子がわかる言葉をかけることや、子ども同士の気持ちを代弁してゆくことが大切である。